

## <2014 年度事業報告>

### I. 事業の概要

公益社団法人日本ガスタービン学会は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律により認定された公益目的事業（事業番号：公1）「ガスタービン及びエネルギー関連技術の発展とその普及・振興を目的とする事業」を行う。2014年度（2014年3月1日～2015年2月28日）は下記を実施した。

#### (1) 研究発表会及び学術講演会等の開催（定款第4条1号）

時期	名称	内容	場所	参加者数	演題数
2014/4/18	特別講演会	「三菱日立パワーシステムズ(株)の事業概要」	三菱重工横浜ビル	69名	1
2014/6/27	第1回見学会	設備見学	(株)東京ガス横須賀パワーステーション、(一財)電力中央研究所	22名	—
2014/7/3-4	第24回ガスタービン教育シンポジウム	若手技術者および学生の教育(講義および施設見学)	(株)東芝京浜事業所タービン工場	52名	7
2014/9/11-12	第25回ガスタービン教育シンポジウム	若手技術者および学生の教育(講義および施設見学)	三菱日立パワーシステムズ(株)高砂工場	60名	7
2014/10/21	ガスタービン市民フォーラム	「ジェットエンジン/ガスタービン-技術の基礎と研究開発の前線-」	熊本大学黒髪北キャンパス	180名	1
2014/10/22-24	第42回日本ガスタービン学会定期講演会・見学会	会員の研究・開発成果の発表, 定期講演会講演論文集発行(150部)	熊本市国際交流会館	139名	61
2015/1/22-23	第43回ガスタービンセミナー	「ガスタービンの最新技術と各種タービン技術の動向」, セミナー資料集発行(140部)	三菱重工横浜ビル	110名	11
2015/2/9	第2回見学会	設備見学	防衛省技術研究本部航空装備研究所	32名	—

#### (2) 学会誌及び学術書の刊行（定款第4条2号）

図書名	発行年月日	発行部数
日本ガスタービン学会誌	2014/3/20, 5/20, 7/20, 9/20, 11/20, 2015/1/20	2,370
International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems	2014/10, 2014/12	Web掲載
「国産ガスタービン・過給機資料集(2014年版)」	2014/12/25	270

#### (3) 内外関連学協会との連携並びに協力（定款第4条3号）

2014年度に継続して共催・協賛した行事は39件であり、新規のものは下記の5件である。

種類	開催時期	名称	場所	関連団体名
協賛	2014/03/10-14	粒子光計測国際会議2014	産業技術総合研究所 臨界副都心センター別館	粒子光計測国際会議2014実行委員会
協賛	2014/8/10-15	第15回国際伝熱会議(IHTC-15)	国立京都国際会館	日本伝熱学会、日本学術会議

協賛	2014/11/1	第15回秋季技術交流フォーラム	兵庫県立大学 姫路 環境人間キャンパス	日本機械学会関西支部
協賛	2014/11/19-21	熱電プラザ 2014	東京ビッグサイト東 1ホール	日本ガス協会、東京 ガス
協賛	2015/1/29	海事三学会合同「次世代エコシッフ シンポジウム」	笹川記念会館	日本航海学会

(4) ガスタービン及びエネルギー関連技術に関する研究、調査（定款第4条4号）

名 称	実 施 期 間	調 査 内 容
「国産ガスタービン・過給機生産統計（2014年版）」の資料収集・発行	毎年度継続して実施中	我国におけるガスタービン及び過給機の生産に関する資料を収集し、纏めると共に、結果を学会誌に掲載した。また、「国産ガスタービン・過給機資料集（2014年版）」の編集・発行を行った。
ガスタービンを考える会	毎年度継続して実施中	産業用および航空用ガスタービン技術の方向性や戦略について調査検討し、学会版技術ロードマップの改訂、プロジェクト案の策定、実現方策・体制案の検討などを行った。
調査研究委員会	2014年度	産業用ガスタービン研究開発プロジェクト案をまとめた。本プロジェクト案はNEDOの公募研究に応募され、採択された。
産官学連携委員会	毎年度継続して実施中	技術開発における産官学連携の現状や課題を調査し、有機的連携やプロジェクト実現の方策を検討した。また、地方企業との懇談会を試行し、新たな産官学連携のスキームを検討した。

(5) 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条5号）

ガスタービンに関連した研究及び技術開発を奨励するため、2年に一度、優れた研究、技術に対して、ガスタービン学会賞（論文賞、技術賞、奨励賞）を授与している。2014年度は、学会賞審査の年度にあたらなため、審査を行なわなかった。若手人材育成のため、ACGT2014に参加し発表をする若手研究者の参加費・旅費の一部助成（5名）を実施するとともに第42回日本ガスタービン学会定期講演会において講演発表する学生の交通費の一部助成（19名）を実施した。また、第42回日本ガスタービン学会定期講演会において優れた研究発表を行った学生（2名）を表彰（日本ガスタービン学会学生優秀講演賞）した。

## II. 運営組織の概要

### 1. 役員・会員・職員

(1) 役員（理事、監事）

2015年2月28日現在

役 名	氏 名	常勤・非常勤	就任年月日	手当	担当業務	所 属
会長 代表理事	藤谷 康男	非常勤	2013/4/12	なし	業務の総括	三菱日立パワーシステムズ(株)
副会長 代表理事	田沼 唯士	非常勤	2014/4/18	なし	業務の総括	帝京大学
執行理事	鈴木 健	非常勤	2014/4/18	なし	法人管理 総務	(株)IHI
執行理事	正田 淳一郎	非常勤	2013/4/12	なし	法人管理 企画	三菱日立パワーシステムズ(株)
執行理事	伊東 正雄	非常勤	2014/4/18	なし	法人管理 財務	(株)東芝
執行理事	幡宮 重雄	非常勤	2013/4/12	なし	法人管理 ガバナンス コンプライアンス	(株)日立製作所
執行理事	山根 敬	非常勤	2013/4/12	なし	公1(1) 集会行事	(独)宇宙航空研究開発機構

執行理事	辻田 星歩	非常勤	2013/4/12	なし	公1(1) 集会行事	法政大学
執行理事	岡崎 正和	非常勤	2013/4/12	なし	公1(1) 技術普及	長岡技術科学大学
執行理事	山本 誠	非常勤	2014/4/18	なし	公1(1) 国際会議	東京理科大学
執行理事	佐藤 哲也	非常勤	2014/4/18	なし	公1(2) 広報	早稲田大学
執行理事	武 浩司	非常勤	2013/4/12	なし	公1(2) 調査	川崎重工業(株)
執行理事	壹岐 典彦	非常勤	2014/4/18	なし	公1(2) 学会誌	(独)産業技術総合研究所
執行理事	姫野 武洋	非常勤	2014/4/18	なし	公1(2) 論文	東京大学
執行理事	春海 一佳	非常勤	2013/4/12	なし	公1(3) 表彰 公1(1) 学術講演会	(独)海上技術安全研究所
理事	藁谷 篤邦	非常勤	2014/4/18	なし	公1(1)	(株)本田技術研究所
理事	桂田 健	非常勤	2013/4/12	なし	公1(2)	日本航空(株)
理事	渡邊 啓悦	非常勤	2014/4/18	なし	公1(2)	(株)荏原製作所
理事	松崎 裕之	非常勤	2014/4/18	なし	公1(2)	酒田共同火力発電(株)
理事	渡辺 和徳	非常勤	2013/4/12	なし	公1(2)	(一財)電力中央研究所
監事	塚越 敬三	非常勤	2013/4/12	なし	業務監査	三菱日立パワーシステムズ(株)
監事	藤網 義行	非常勤	2013/4/12	なし	業務監査	東京農工大学

(2) 会員

会員種別	会 員 数		増減数
	本年度末 2015年2月28日現在	昨年度末 2014年2月28日現在	
正会員	2050名	2057名	△7名
学生会員	99名	82名	17名
名誉会員	50名	50名	0名
終身会員	38名	34名	4名
賛助会員	103社(137口)	102社(137口)	1社(0口)

\*増減数には、定款第11条1号及び会員に関する規程第15条1項3号による「資格喪失者」3名減を含む。

(3) 職員

2015年2月28日現在

職務	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局員	平岡 克英	2011年3月1日(嘱託)	事務局の総括	事務局長



	1 2) 産官学連携／調査研究委員会報告 1 3) 2014 年度第 3 回理事会議事録	了承 全会一致で承認
2014/7/23	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 他学協会からの協賛依頼行事の件 4) 委員会構成案 5) 規程改定案 6) IGTC2015 業務委託契約の件 7) IGTC2015 協賛依頼の件 8) 運営委員会報告 9) 自己点検委員会報告 1 0) 国際委員会報告 1 1) 学術講演会委員会報告 1 2) 集会行事委員会報告 1 3) 学会誌編集委員会報告 1 4) IGTC2015 実行委員会報告 1 5) 統計作成委員会報告 1 6) 産官学連携／調査研究委員会報告 1 7) ガスタービン技術普及委員会報告 1 8) 事務局報告 1 9) 2014 年度第 4 回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認／了承 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 了承 了承 了承 了承 了承 了承 了承 了承 了承 了承 全会一致で承認
2014/10/17	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 他学協会等からの共催・協賛依頼行事の件 4) 委員会構成案 5) リスク管理規程 (案) 6) 学会誌への賛助会員リストコーナー設置について 7) ASME/IGTI との協力について 8) 事務局職員の契約更新の件 9) 集会行事の開催に関する内規改定案について 1 0) IGTC2015 実行委員会報告 1 1) 産官学連携／調査研究委員会報告 1 2) 国際委員会報告 1 3) 運営委員会報告 1 4) 倫理規定委員会報告 1 5) 学術講演会委員会報告 1 6) 集会行事委員会報告 1 7) 学会誌編集委員会報告 1 8) 統計作成委員会報告 1 9) 表彰委員会報告 2 0) 論文委員会報告 2 1) 技術普及委員会報告 2 2) 事務局報告 2 3) 2014 年度第 5 回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認／了承 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 了承 了承 了承 了承 了承 了承 全会一致で承認 了承 了承 了承 了承 了承 了承 了承 了承 全会一致で承認



(2) 総会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2014/4/18	公益社団法人 日本ガスタービン学会 2013 年度通常総会 第 1 号議案： 計算書類および財産目録の件 第 2 号議案： 理事選任の件 第 3 号議案： 名誉会員候補者の件 第 4 号議案： 終身会員候補者の件	賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認

3. 各委員会の活動

(1) 倫理規定委員会

委員長 幡宮 重雄 他 5 名 開催 1 回

倫理規程に関する事項を担当した。

(2) 自己点検委員会

委員長 幡宮 重雄 他 5 名 開催 1 回

リスク管理規程を制定し、自己点検に関する事項を担当した。

(3) 運営委員会

委員長 鈴木 健 他 13 名 開催 7 回

庶務、会計、渉外、その他学会運営に関する事項を担当した。公益社団法人設立後、初の内閣府立入検査を受け、執行状況は概ね良好の総合評価を得た。

(4) アドバイザリー委員会

委員長 佃 嘉章 他 44 名 開催 1 回

2013 年度および 2014 年度の活動状況、2013 年度決算および 2014 年度予算、調査研究委員会と NEDO 応募課題、IGTC2015 の概要と準備状況、「ガスタービン工学」刊行の各概要説明を受け、議論を行った。

(5) 企画委員会

委員長 正田 淳一郎 他 7 名 開催 2 回

学会運営に係る規程類を抽出し、規程類の体系表を完成させた。これにより、不足の規程類が明確となり、作成中であった規程類とともに、当該委員会・事務局等に作成依頼を行った。また、一部の内規についても運営要領として改訂するように当該委員会に依頼をした。学会事業の将来企画・計画について、第 34 期将来ビジョン委員会報告書や本委員会内で抽出された案を、活動区分（委員会）と活動目的とでマトリックス状に整理した。

(6) 国際委員会

委員長 仲俣 千由紀 他 11 名 開催 5 回

6 月にデュッセルドルフ（ドイツ）で開催された ASME Turbo Expo 2014 に GTSJ として初めて展示ブースを出展した。次回 ASME Turbo Expo 2015 についても、出展する計画で、準備を進めている。また、ASME Turbo Expo 2014 会期中に 11 名の IAC 委員（代理を含む）と 1 名のオブザーバに参加いただき、IAC ミーティングを開催した。学会誌 1 月号に記事「ガスタービン・ジェットエンジンに関する主要な国際会議の俯瞰と整理」を取りまとめた。IGTC2015 に関しては、国際委員会にて参加者アンケートを取りまとめる計画を行った。

(7) 学術講演会委員会

委員長 春海 一佳 他 11 名 開催 5 回

第 42 回日本ガスタービン学会定期講演会を熊本市国際交流会館で開催し、見学会（日立造船・ユニバーサ

ル造船、熊本大学先進マグネシウム国際研究センター等)を実施した。また、市民フォーラムを熊本大学工学部にて開催した。

(8) 集会行事委員会

委員長 山根 敬 他15名 開催6回

若手技術者、研究者を対象に2日間の第24回教育シンポジウム((株)東芝 京浜事業所)、第25回教育シンポジウム(三菱日立パワーシステムズ(株)高砂工場)、見学会として(株)東京ガス横須賀パワーステーション / (一財)電力中央研究所(会員以外の一般参加も受付)並びに防衛省技術研究本部航空装備研究所(会員および会員の推薦がある非会員学生でいずれも日本国籍を保有する者に限定)の半日の見学会を各1回、三菱重工横浜ビルにおいて「ガスタービンの最新技術と各種タービン技術の動向」に関する第43回ガスタービンセミナー(2日間)等の企画・実施・資料集発行(今回よりカラー印刷)を行った。

(9) ガスタービン技術普及委員会

委員長 岡崎 正和 他13名 開催5回(内E-mail会議4回)

「ガスタービン技術普及委員会運営要領」の見直しを行うとともに、それに即して、定期講演会-市民フォーラムの講師選定、総会後特別講演会の講師選定・依頼、及び、教育シンポジウムの講師選定に関する集会行事委員会への助言を行い、それぞれの行事の担当委員会に答申した。また、刊行済みの教科書「ガスタービン工学」の普及をはかる活動の一環として、全国の大学図書館向け広報ビラを作成して郵送するとともに、更なる広報と普及に向け、ネット通販委託ルートによる広報・販売に係る情報収集と実行時の課題を検討した。さらに、教科書の改訂に向けて「ガスタービン教科書の編集・改訂・発行要領(案)」を策定するとともに、自己学習システムやネット通販委託システム構築など、改訂後の教科書を使用したソフト面での充実・推進などのアクションプランを検討した。

(10) 学会誌編集委員会

委員長 壹岐 典彦 他24名 開催6回

学会誌の企画・編集・発行に関する事項(特集記事の企画・執筆依頼・校正、各号の編集・発行等)を担当した。特集として、2014年3月「ガスタービンにおけるモニタリング技術の進化について」、2014年5月「ガスタービン吸気系の最新技術」、2014年7月「石炭火力発電」、2014年9月「最新の加工・製造技術」、2014年11月「過酷な環境で使用されるガスタービン」、2015年1月「特集①ガスタービンに関わる国内外の学術会議等、特集②第42回定期講演会(熊本)特集」を企画・編集し、研究・開発・設計技術者からユーザー各社の技術者まで、幅広い読者に関心を持って頂ける内容となるように努めた。また、関連規程類の制定と見直しを行った。

(11) 論文委員会

委員長 寺本 進 他15名 開催7回(内E-mail会議5回)

学会に投稿された和文及び英文技術論文の査読、電子版英文論文集 International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems (略称 JGPP) の編集・発行を行った。

(12) ガスタービン統計作成委員会

委員長 武 浩司 他9名 開催6回(内E-mail会議4回)

2013年の国産ガスタービン及び過給機生産に関する統計資料をまとめ、学会誌 Vol. 42 No. 4 に掲載した。また、「国産ガスタービン・過給機資料集(2014年版)」の編集・発行を行った。

(13) 産官学連携委員会

委員長 渡辺 紀徳 他15名 開催2回

ガスタービン・ジェットエンジンに関する研究開発プログラムの具体化方策や、学会の産官学連携促進活動について検討を行った。ガスタービンを考える会で作成している研究開発プロジェクト案を実現させる方策について審議・助言を行った。前年度に設置した調査研究委員会と連携して、再生可能エネルギー大量導入時の負荷変動に対応する先進ガスタービン技術の研究開発プロジェクトを計画した。同計画は、NEDOの先導研究プログラムに応募され、採択された。また、新潟県長岡市で地元企業との技術懇談会を試行し、新たな産官学連携の可能性を見出した。

(14) 広報委員会

委員長 村田 章 他7名 開催5回 (内E-mail 会議5回)

学会ホームページの維持のために、掲載内容を適宜追加・修正した。さらに情報システム化推進委員会と一体となり、学会ホームページ用サーバー更新の検討を行った。

(15) 表彰委員会

委員長 田沼 唯士 他6名 開催5回 (内E-mail 会議5回)

若手研究者に対する ACGT2014 への参加助成を行った。また、学術講演会委員会と協力して、定期講演会で講演発表する学生の交通費の一部助成を実施し、さらに同委員会と協力の下、学生優秀講演賞の選定と表彰を行った。加えて学会賞審査に関する規程 (学会賞審査委員会運営要領、学会賞審査要領) を作成した。

(16) 次年度役員候補者等推薦委員会

委員長 田沼 唯士 他5名 開催2回 (内E-mail 会議1回)

2015 年度に就任する理事・監事ならびに各委員会委員長の候補者の人選を進め、理事会へ推薦を行った。

(17) 名誉会員候補者選考委員会

委員長 藤谷 康男 他6名 開催1回

規定に従って名誉会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。

(18) 終身会員候補者選考委員会

委員長 藤谷 康男 他4名 開催1回

規定に従って終身会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。規定の見直しを行った。

(19) IGTC2015 実行委員会

委員長 渡辺 紀徳 他51名 開催4回 (内全体会議1回)

前年度から引き続き、2015 年 11 月の開催に向けて、International Gas Turbine Congress 2015 Tokyo (IGTC2015) の開催準備を進めた。会場の借用契約および会議運営業務委託契約を結んだ。

(20) 情報システム化推進委員会

委員長 村田 章 他7名 開催5回 (内E-mail 会議5回)

広報委員会と一体となり、学会ホームページ用サーバー更新の検討を行った。今年度で臨時委員会としての役割をほぼ終えたが、ファイル共有サーバー利用要領を作成してからの委員会解散とすることとした。

(21) 調査研究委員会

委員長 壹岐 典彦 他14名 開催11回

産官学連携委員会およびガスタービンを考える会と連携しながら、2013 年度にまとめた「負荷変動対応型先進発電設備に関する技術可能性調査」の実現に向けて活動した。本プロジェクトは、NEDO の「エネルギー・環境新技術先導プログラム」に「再生可能エネルギー大量導入時代の系統安定化対応先進ガスタービン発電設備の研究開発」の課題名で応募され、採択された。

(22) ACGT 実行委員会

委員長 山本 誠 他3名 開催3回 (内E-mail 会議3回)

ソウル(韓国)での ACGT2014 の開催に協力し、日本側の Keynote Speaker、Forum の話題提供者、Session Chair 等の推薦を ACGT2014 実行委員会 (実行委員長：ソウル国立大学、Song 教授) に対して行った。日本からの参加者を増やすために、ガスタービン学会誌に会告を掲載するとともに、GTSJ メーリングリストを用いて会員に積極的な参加を呼びかけた。また、本国際会議終了後、ガスタービン学会誌に ACGT2014 開催報告および見聞記の掲載を行った。